

GOING...



make a successful bid!

GOING...

WE!!!

特集

オークションからエージェント購入まで

目指せ! 超一流の インターネットバイヤー

「特に安くもないし送料もあるし、全然お得じゃなかった」、「1、2回やったらもういいやって感じ」。こんな理由でインターネットでのショッピングから遠ざかった人が多いのではないだろうか。最初は物珍しさで体験してみても、2、3度やればメリットやデメリットがわかってくる。確かにインターネットでの買い物は、現実の店舗で買うより手間はかかるし面倒だ。

しかし、手間がかかって安くなくても、品揃えが自分にぴったりな店だったら？
そして何より、買い物することを楽しめるサービスがあるとしたら……？

そのとき、インターネットでの買い物は、買うだけでなく楽しむものになるはずだ。

オークションやリコメンドサービスなど、インターネットならではのインタラクティブ性を持った買い物に挑戦して、逸品を楽しんで手に入れよう。成功したら、あなたも一流のインターネットバイヤーだ！

文 編集部
Photo Nakamura Thoru
Tokuhiko Watari
Kentaro Takioka
Illust 東京工作クラブ

オークションでレアものをゲットしよう 一流のバイヤーならこんなものが格安で手に入る



いままでのオンラインショッピングは単に物を買うだけ。限られた品揃えの中から妥協して選ぶ感じが残っていたんじゃない？ それより、最初からコレが欲しい！ と思ってお店を探す方が、見つかったときに嬉しに決まっている。そんな気持ちでインターネットで探し当てた物たちがここにいる。中古品だって魅力ある物なら構わない。しかもちょっとでも安くゲットしたい。そう思うなら、君もインターネットバイヤーの資格は大いにある！

集
特
超
目
指
一
流
の
イ
ン
タ
ー
ネ
ッ
ト
バ
イ
ヤ
ー



ティム・ダンカンの
サイン入りフォト

\$21.49

99年のNBAチャンピオンチーム、サンアントニオ・スパーズのフォワードで大活躍したティム・ダンカン選手のサインが入ったポートレート。このサインは本人の物だという保証書もついているぞ！



セス・トーマスの
70sな置時計

\$15.00

時計メーカー「セス・トーマス」の置時計。たぶん70年代ぐらいに作られたモノ。日本じゃそう簡単に手に入らないけれど、eBayで探したらたったの15ドル。70年代マニアだったら絶対にたまらないはず。

KROMEX製3段トレイ

\$16.50

「これ何だ？」と編集部でしきりに疑問を投げかけていたトレイ。KROMEXというところのもので年代は不明。eBayで購入したが、こんな製品はあまり日本では見かけない。雑貨好きなら絶対にチェックするべきだろう。

オリンパス
キャメディアC-1400L

¥57,500

オリンパスの一眼デジタルカメラ。すでに一世代前のものとなってしまったが、まだまだ現役として使える。スマートメディアなどと併せてこの値段は破格。MY-TRADEで購入。

任天堂
バーチャルボーイ
\$31.00
任天堂ゲームウォッチ
\$15.00

どちらもなかなか手に入らないレアもの。バーチャルボーイは一頃秋葉原で見かけて、いまでは姿を消してしまっただ。こういった懐かしいものもeBayで探せる。中古コンピュータマニアにもオススメ。





ハンディGPS Garmin
GPS

\$258.53

日本で買ったら5万はするGarminのハンディGPS。ほかにもさまざまな機種がeBayで見つけられる。



Sears Roebuckの
LED腕時計

\$34.99

LEDが光るデジタル腕時計。数年前のブームを考えると、日本で買ったら1万円は超えるかも。もちろんちゃんと動いている。eBayで購入。



ロボット型鉛筆削り

\$3.50

どのメーカーかわからないが、なんとなくかわいい鉛筆削り。ほのぼのした感じがいい。しかも、たったの3.5ドル(送料のほうが高かったが)。eBayで購入。



SPARTUSカメラ Rocket

\$12.99

ブローニーサイズのフィルムを使うSPARTUSというメーカーのカメラ。50年代ぐらいのものだろうか。なぜか、コダックのカメラの箱に入ってきた。eBayではこんな珍しいカメラも見つけられる。

ヘッドセット型ディスプレイ
フィリップス スキューバ

¥16,000

日本でも結構掘り出し物が見つかる。たとえば、このスクューバ。ほとんど新品で市価よりも非常に安い。MY-TRADEで購入。



BRIO製
サーブのミニカー

\$17.00

スウェーデンBRIOの珍しいミニカー。これも日本ではあまりお目にかかれぬ。これもeBayで購入。スウェーデン車のサーブってのもなかなかイカしてて。





0.1ドルから100万ドルまで、200万以上のアイテムが常時そろう eBayで世界最大のオークションに参加しよう

オークションの基本を知っておこう

オークションとは、売りたい品物を持つ売り手に対して買い手（複数）が希望の値段を出し（入札する）一番高かった人が買う権利を得る（落札する）システムだ。一般的にはオークションの日時と何を売りにかけるかを事前に告知して、それを参考に買い手が集まる仕組みになっている。

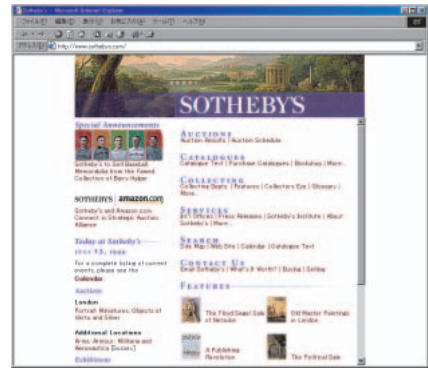
オークション自体の歴史は古く、世界的に有名な老舗オークションハウス「サザビーズ」や「クリスティーズ」の創業が1700年代になる。

それから現在に至るまで、年々市場を拡大しながら成長してきた。絵画や骨董、著名人にまつわる品物などが多く出品され、その取引には数億円単位の金額が動くことも珍しくない。ときどきニュース番組で「マリリン・モンローの、億円で落札」といった報道を聞くことがあるが、それはこういったオークションで取引される物なのだ。といっても一般人には縁遠い世界だが、

そこまで高価な物でなくても、たとえば昔のミニカーやレコード、トレ

ディングカードなどを取引するオークションは欧米では頻繁に行われている。手紙のやりとりだけで落札できるシステムも数多くある。

日本では質屋協会が行っている質流れ品のオークションや、「ハンマープライス」などテレビ番組内のオークションはよく行われているが、まだ一般の人が身近な品物を出品・入札するところまでにはなっていない。



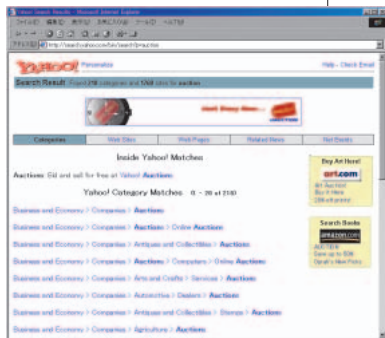
Jump www.sothebys.com

老舗のオークションハウス、サザビーズのウェブサイトを。サイトからは入札できない。

特集
超一流のインターネットバイヤー

インターネットとの相性はばっちり!

ヤフー! の表示結果。カテゴリだけでも結構な数がある。



そこでインターネットオークションの登場だ。結論から言うと、インターネットとオークションの相性は非常によかったわけで、そこに現在のeBayなどの成功があると言える。

試しにヤフー! ジャパンで「オークション」で検索してみると(7月12日現在)、3カテゴリで250サイトがヒッ

ト、米国ヤフー! では217カテゴリ、1768ものサイトがヒットした。さらに子供用品限定、カー用品限定といった1つのカテゴリ(しかも特に珍しいもの)に絞ったオークションが多い。

この盛り上がりの理由はどこにあるのか? 1つには参加する手間が少ないことが挙げられる。インターネットオークションではわざわざオークション会場まで出かけていく手間はかからないし、重い物を持ってい

く必要もない。やりたいときはいつでも売ったり買ったりできるので、ユーザーには非常に都合がいい。さらにオークションのやりとりをサーバーで行う場合、一度システムを構築してまえば、1つ1つの取引に人の手を煩わせることはなくなるので、主催する側も楽になる。

こうして作り手と買い手側とのメリットが重なったことが、インターネット上でオークションサイトの爆発的な増加を生み出したのだ。

参加する前に心がけておくこと

これからeBayをはじめとするオークションのハウツーを掲載するが、その前に覚えておきたいことがある。ここでいくつかあげてみるので参考にしてほしい。

取引は自分の責任で行うもの

これはeBayに限らず、ほとんどのオークションにおいて言えることのだが、落札した後の先方との金銭受け渡しを含めたやりとりは、すべて個人間において、個人の責任で行われる。つまり相手にだまされたり、

ふっかけられたりすることがあっても、オークションサイトはサポートしてくれず、すべて個人で解決すべき問題になるのだ。your own riskで行われることを常に忘れず、慎重な行動をしよう。

英語にびびるな

海外のオークションは英語で記述してあるものがほとんど。そこで腫したり、書いてあることがわかんないから.....という人には海外オークションはオススメできない。英語といっ

ても中学校の英語の授業でわかる文法で書かれているものがほとんどなので、辞書片手に訳したり、翻訳ソフトのお世話になってみたりと、自力でがんばってみよう。それでもどうしてもわからない箇所があるときは、そのサイトのサポートや掲示板などで質問してみるのも手だ。

落札後の電子メールのやり取りに使える例文を追って掲載するので参考にしてほしい。

送料を含めた金額を考えよう

海外オークションで安く買ったと喜んで、送料や手数料を含めたら

結局トントン、時に高くなってしまったらというのはよくあること。入札する前にそれらを足した総額でいくらなるかを調べておこう。海外からの送料についてはeBayからリンクしているUSPSの計算サービスが役に立つ。



USPSの送料計算サービス。アメリカ 各国宛の送料の計算ができる。

世界最大のオークション「eBay」とは？

アメリカ最大、いや世界最大のオークションサイトがeBayだ。常時200万以上の品物がリストアップされ、世界180か国400万人以上のユーザーが参加している巨大オークションサイトなのだ。

1995年に創始者のピエール・オマイジャーがペットのコレクターの妻のために始めた個人売買サイトが、今やとてつもない数のオークションをさばき、またコミュニティとして機

能する一大サイトになった。

このeBay、参加は18歳以上なら誰でもOK。そして重要なのは、eBayはオークションの場としてのみ機能して、落札成立後の取引は売り手と買い手の間に一切が任せられることだ。となると、たとえば買い手が売り手にお金を振り込んだのに、いつまで経っても荷物が送られてこない場合などはどうしたらいいか？と不安になるかもしれない。

これを補うために「フィードバック」(Feedback)という仕組みがある。取引が終わった後に相手の評価を「良い・普通・良くない」(Positive/Neutral/Negative)の3段階で書き込むのだ。売り手が荷物を送らなかった場合、買い手は相手に「Negative」を付け、コメントに「荷物を送ってくれなかった」と書く。それを見た別の人が「この売り手はあまり信用できない」と判断して、その人の売っている物は買わないようにしようと判断できる。こ

ういった流れの中で、eBay内のユーザー同士の評価が信用度につながる。つまり、基本的にユーザー同士の信頼のもとでeBayは成り立っているわけだ。eBayのサイト内にあるコミュニティガイドラインに書かれた基本認識でも、人々の性善説を信じ、それに基づいて行動することをうたっている。

厳格な規定を引くよりも、まずユーザーに任せることで、自然と規律が生まれるやり方を取っているのがおもしろい。

人気の理由はここにある

まずはとにかく品物の多さ！どのカテゴリーに行っても、見回りきれないほどの品物が山盛りになっている。何か趣味を持っている人なら確実に夢中になるアイテムが満載だ。

そして品物を売買することで、同じ趣味を持つ人たちやコミュニティと知り合える機会が生まれる。何度か同じカテゴリー内で入札をしていると、それを見ていた別メンバー

から「こういう物を出してるけど見に来れば？」という電子メールが送られてきたり、一度入札した売り手から「この間のアレの色違いを今度出すよ」といった電子メールが送られてくることもしばしばある。

さらに売り手になると、自分の不

要だった物を他人が興味を持って買ってくれる喜びもある。また電子メールでの交渉や連絡はほぼ100パーセント英語になるので、生きた英語が身につけられる利点も。

と、いろいろ言ったところで百聞は一見にしかず。早速チャレンジ！

トップページはこうなっている

- 「HOME」でこのページに戻る。
- 「Listing」では最新の「Featured Auction」(看板オークション品)と「Hot Item」(30以上の入札がある品)のリストが見られる。ジャンル分けはなし。
- 「BUYERS」eBayで買いたい物がある人に役立つページ。オークションの流れからその後までを解説。Tipsもある。
- 「Sellers」こちらは売りたい物がある人への情報を掲載している。
- 「Search」eBayの品物を検索できる。品物に関する言葉から、その品がある地域名、売り手の名前などで検索できる。
- 困ったときには欠かせない「Help」。
- 「NEWS/CHAT」eBay内の最新情報(メンテナンス情報やサーバートラブル報告もここ)から、カテゴリーに合わせて揃ったチャットボードがある。
- 「SITE MAP」全貌をつかみたいときや「こういうページがあった

- はず」というときはこちらへ。
- ここからも簡単な検索ができる。
 - 売りたい物がある人はここから登録ページへどうぞ。
 - NEWS/CHATのページにリンク。
 - eBay ビギナー向けのコーナー。左はeBayのガイド、右がユーザー登録。
 - 大まかなカテゴリー別品物リストへリンクする「Categories」。
 - 数が多い、掘り出し物など看板的オークション用のコーナー。
 - 耳寄りなオークション情報やお得なサービスが登場する「Fun Stuff」。
 - まず画像を見てから選べる「the Gallery」。
 - 各地のeBayやプレスリリースなどを紹介している。日本語のヘルプもあり。
 - ここからリンクしている「USPS on eBay」「Postage Rate Calculator」「International postal rate」で日本への送料が調べられる。



Jump www.ebay.com



まずは登録、掘り出し物を見つけよう 早速参加して目当ての逸品を見つけだせ

最初はメンバー登録から

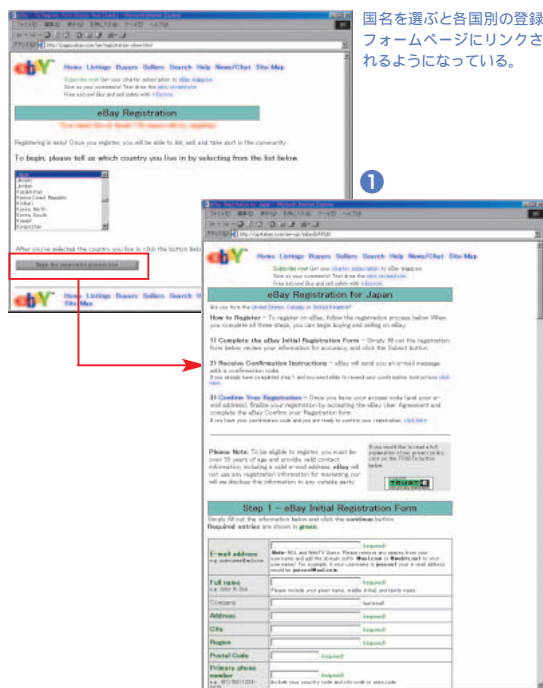
eBayでオークションにデビューしたいなら、まずはメンバー登録をしてeBayのIDを手に入れよう。メンバー登録は3ステップ。
①まず名前や住所などをサイトのフ

ームから登録。
②折り返し電子メールが送られてくるので、その電子メールに記載されたURLのページに跳ぶ。
③規約を読んだあと、送付された確

認コードや名前などを入力する、で完了。3つ目のステップで、自分でIDに好きな名前を選んで入力するのであせらないように。
登録した後の1か月間は、自分のIDの脇に小さなサングラスマークが付く。これは「最近登録した(また

は電子メールアドレスを変えた)人です」という意味で、自分に付いていることに関してはあまり気にしなくてもよい。ベテランユーザーで頻繁に電子メールアドレスを変えている場合は信用のおけない人物の危険もあるので、フィードバックを確認しよう。

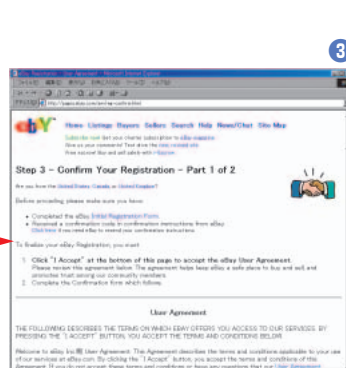
特集
目指せ!
超一流のインターネットバイヤー



① 国名を選ぶと各国別の登録フォームページにリンクされるようになっている。



② すぐに登録確認の電子メールが来るので、内容を確認して電子メールに記載されたURLへ。ここでも国名を選んでから次へ進む。



規約を読み、承認 (I accept) を押すとレジスターコードなどを入れる画面になる。最後に希望のIDを入力して、「Complete your registration」を押せば完成!



日本語のページもあるぞ

eBayには日本語で仕組みや使い方の解説をしているページがある。登録前にぜひ一度目を通しておこう。ざっとではあるが、eBayの仕組みや理念、オークションの進み方がわかってくるだろう。もっと詳しいところまで知りたかったら、184ページに登場しているdansyakuさんの「eBayやろうぜ!」から「eBayのガイドライン」や「FAQ」を訪ねてみよう。きっと役に立つことが載っているはずだ。またチャットルームの「Japan Board」では、英語日本語が飛び交いながら、eBayに関する雑談や質問でにぎわっているので覗いてみよう。



日本語のヘルプ
Jump pages.ebay.com/aw/japan/help/



Japan Board
Jump cgi.ebay.com/aw/cgi/eBayJASAPI.dll?ViewBoard&name=japanboard

検索はカテゴリー、サーチ、そしてギャラリー

無事IDをゲットできたら、次は入札する物を探してみよう。探す方法も基本は3通りあって、ヤフー!などのディレクトリー検索サイトと同様、希望のカテゴリーを辿る「Category」(カテゴリー)、欲しい

物の名前を入力、検索で一発回答の「Search」(サーチ)、画像のあるエリアからカテゴリーを辿っていく「Gallery」(ギャラリー)の方法がある。

明確に欲しい物が決まっている場

合、たとえば「フェンダー・テレキャスターの63年モデルが希望」、「マグワイヤーのサイン入りバットが欲しい」といったときは、サーチで探るのが賢い。

一方、「ファービーを見たい」、「腕時計でよさそうなのがあったら」という場合は、ギャラリーで画像が

ら見るのがいいだろう。ただしギャラリーに登録すると出品料が少し高くなるので、画像はあってもここに登録しない売り手も多い。目当てのジャンルの物をもれなくきっちり調べたいという人は、カテゴリーのPICアイコンの付いている物を順次見ていく手をオススメする。

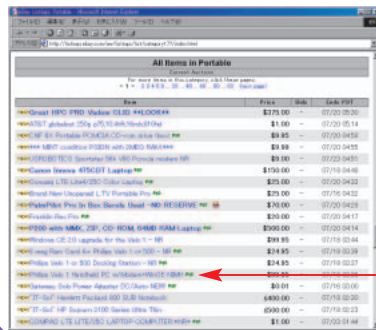
例 PSIONを探してみよう

「PSION」(サイオン)というイギリス生まれのPDAがある。ルックスの良さで以前から注目されていたが、日本語環境が厳しかった。このほど正式な日本語化ソフトの発売が決ま

ったので、今のうちに安く買っておく計画だ。日本で買うとSeries5/8MB/英語版というスペックで60,000円弱だ。

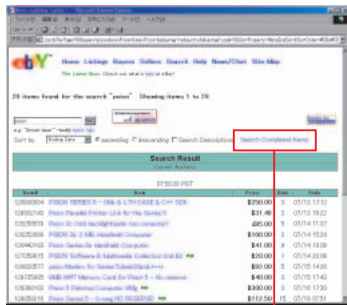
1 まずはカテゴリーを辿ってみる。「Computers」からPDAへ...と思ったがPDAのカテゴリーがないので「Portable」へ。ノートPCが多いが、Windows CE機やPalm VもあるのでカテゴリーはこれでOK。アイテム数は全部で3900以上(!) 80ページ分もある。全部は見えて回れないので早々に退散。

2 今度は「Portable」のギャラリーへ移動した。読み込みに少々時間がかかるが画像が付いているのは助かる。13ページでアイテム数は400弱。カテゴリーと比べると1割くらいに減る分だけ見落としは多い。結局ここにはなかった...

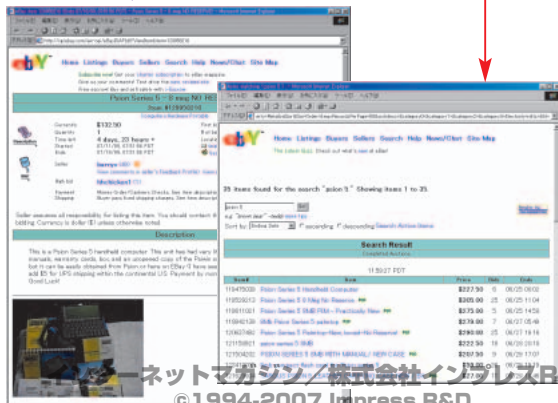


PICアイコンが付いていると画像がある。

3 目当ての物だけ表示させよう、サーチへ。サーチはトップページの検索ボックス、もしくはサーチページから。入力単語は「PSION」か、さらに絞り込んで「PSION 5」でもいっただろう。「PSION」の場合、結果は26件。ようやくちょうどいい数が表示された。



4 結果のリストを見ると、希望のSeries5/8MBはだいたい100~300ドルの間で入札中。この値段で行けば安い!しかし終値が高くなったら意味がない。それでは以前と同じ物がいくらかで取引されているかを参考にしよう。検索結果表示画面に「Search Completed Items」というリンクがあり、オークションが終了したアイテムを検索できる。ここから「PSION 5」で検索したところ、約200~300ドル、モデム付きで400ドル前後で取引されていたことがわかった。相場がわかれば入札するときの金額の参考にできる。



eBay検索のtips

PSIONの場合は欲しい物が製品名そのものズバリだったので品名を入れるシンプルな検索方法でOKだったが、満足な検索結果が出ない場合もある。そのときはこの手をどうぞ。

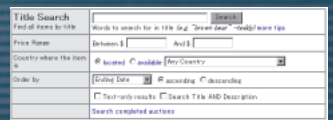
商品解説を検索する

検索スペースにある「Search Title AND Description」にチェックを付けると、各商品の解説文まで検索される。ヴァーガスが挿し絵を描いている本、レニー・クラビッツが参加しているアルバム、といった物を探すときに向いている。

Text-only results Search Title AND Description

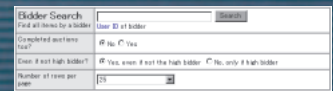
国際発送が可能な物を探す

検索ページの「Country where the item is」項目の「available」にチェックを付け、プルダウンメニューを「Any Country」にして、検索窓に語句を入れて検索する。商品の発送条件に「Seller ships internationally」と書いてある品の中から検索する方法だ。



買い手で検索する

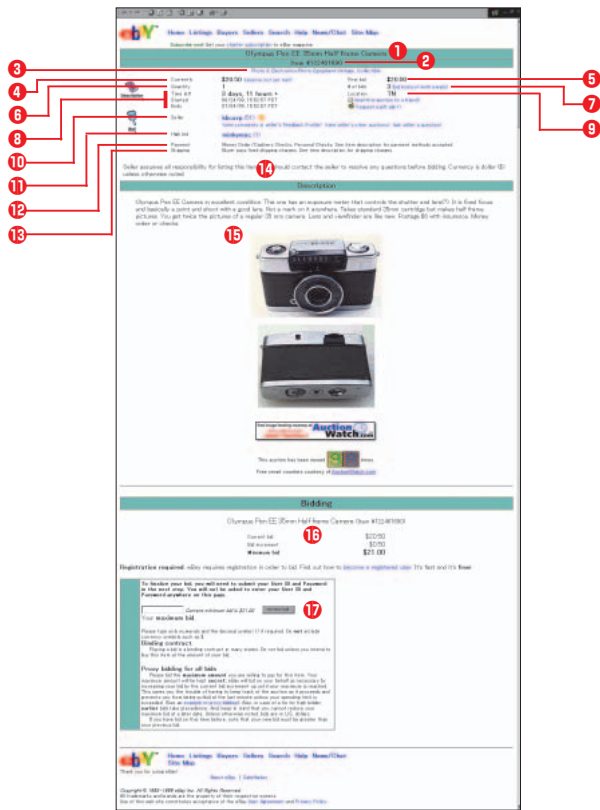
狙っているジャンルの物に、同じIDの入札者がいつも決まって登場することがある。要するに、向こうも同じジャンルの物を狙っているライバルなのだ。それを逆手に取ってライバルの入札している物を検索すると、自分が見落としていた物が見つかることがある。サーチページの「Bidder Search」でライバルのIDを入れ、「Even if not high bidder?」のYesにチェックを付けて検索しよう。





オークションの醍醐味はここにある 狙った獲物はこうやって競り落とそう

商品説明ページはこうなっている



特集
超一流のインターネットバイヤー

検索で欲しい物が絞り込めたら、商品をじっくりチェックしよう。まずは商品掲載ページを隅々まで読むことが大事だ。各部分の構成は以下のようになっている。

- ① 商品名「NoReserve!」や「Look」などのキャッチフレーズと一緒に入ることも。
- ② アイテムナンバー。
- ③ この商品のあるカテゴリー。
- ④ Currently 現在の価格。
- ⑤ First bid スタート時の価格。
- ⑥ Quantity 品物の数量。
- ⑦ # of bids 入札の回数。隣の「Bid History」はこれまでの入札履歴で、「With emails」で入札者の電子メールアドレス付きの履歴が出る。
- ⑧ Time left オークション締め切りまでの残り時間と、開始、終了の日付。

- ⑨ Location 商品が発売される場所、すなわち売り手が住んでいるところ。
- ⑩ Seller 売り手の名前。
- ⑪ High Bid 現在の最高価格の入札者。
- ⑫ Payment 売り手が希望する支払方法。
- ⑬ Shipping 売り手が希望する発送条件。
- ⑭ eBayのお約束フレーズ。意味は「売り手は記載した項目についての責任を負う。疑問があったら入札前に売り手に質問すべきだ。特に注意のない場合、通貨は米ドルである。」
- ⑮ Description 商品の説明。画像やカウンターは売り手の好みによって加えてある。
- ⑯ 入札 現在の価格と次の入札で増加する額が示してある。
- ⑰ 入札スペース。

さあ入札！ その前にここをチェック

いよいよ目当ての物も決まり、「さあ入札しよう！」と気合いが入るころ。その前に確認したいことがある。いざ物が来たときに「しまった！」とならないようにチェックしておこう。

商品説明はしっかり読んだ？

商品説明（Description）はもちろん、PaymentやShippingもチェック。特に“Ship to Home Country Only”になってたりすると、いざ落札しても送れないと言われて泣く羽目になる可能性大。商品に疑問点があったら、売り手に電子メールで質問しよう。

オークションにも種類があるぞ 一般的なのは物が1つだけのシングルオークション。これに対してダッチオークションは同じ物が複数あるオークション。この場合、たとえば5個ある物に10人が入札すると、額の多い順に上から5人が落札でき、価格は5人目の価格になる。物の数より入札額が足りなかった場合は出品時の価格で落札される。

売り手の信頼度を調べよう

売り手の名前の隣にある数字とは、いわばその人のeBayでの経験値。数字が大きいほどたくさん取引の経験があって、なおかつ取引した

相手から認められている証明になる。数字をクリックすると売り手のフィードバックが読め、他のユーザーからどう評価されているかが分かる。

入札する物についての知識を得よう
入札する物が日本ではいくらが相

場か、また海外ではどうなのかを調べておくこともオススメする。商品についての知識があればあるほどいいはずだ。現在の為替レートと送料と価格、この兼ね合いを見て、入札するべきかをクールに判断しよう。

eBayで使える例文集 1

・商品の状態について問い合わせるとき

I would like to know the condition of ***** (商品名とアイテムナンバー).
Please let me know about it.

・日本へ発送が可能か問い合わせるとき

I would like to bid your ***** (商品名とアイテムナンバー)
Please let me know it could be sent to Japan.

入札のステップはこうなる

いよいよ入札に挑戦だ！ 基本的に一度入札したら取り消しできないので、落ち着いていこう。値段の入力は小数点以下まで書くのが基本。また入札しても、元の商品ページに

① 金額を記入

金額はもちろんドル表示、24.50のように、小数点以下（セントに当たる部分）も書く。\$マークは必要なし。



すぐに自分の名前が出ないときがある。基本的に③の画面が出たら最高入札者になっているはずなので、何度かリロードして確かめてみよう。

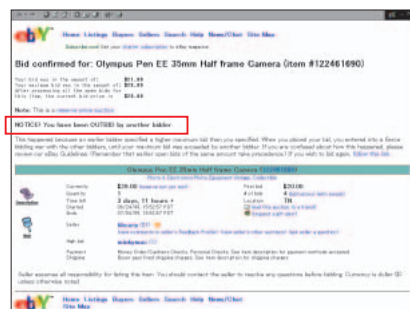
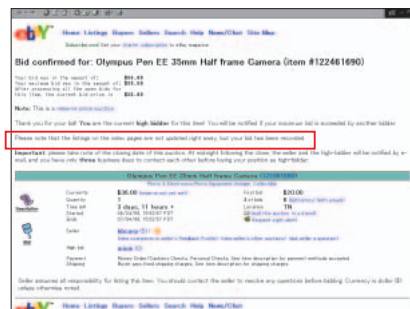
② 確認画面でIDとパスワードを入力

自分の入札した金額と、表示金額が出る。入札前の注意事項も表示される（売り手のフィードバックを見る、支払いと発送方法について確認するなど）。確認したらIDとパスワードを入力して「Place bid」をクリック。



③ 入札成功!

無事入札できると「Thank you for your bid! You are the current high bidder for this item! You will be notified if your maximum bid is exceeded by another bidder.」(入札ありがとう！ あなたがこのアイテムの最高額入札者です！ もし他の入札者に抜かれたら、通知が届くでしょう) というメッセージが表示され、High Bidderに自分のIDが載る。すぐに入札通知の電子メールも届くはず。



④ 入札失敗!?

eBayにはプロキシビidding（185ページ参照）があるため、自分が入札した金額が先に入札された金額より低い場合もよくある。この場合は「NOTICE! You have been OUTBID by another bidder.」(注意！ あなたは他の入札者によってアウトビッドされました)と表示される。アウトビッドとは入札額が負けていること。前の入札額が自分の入札額を上回っているため、入札できなかったわけだ。金額を変えて再挑戦するときはコメントの下の「Follow this Link」から行こう。入札後、他の入札額が自分の額を上回った時は、アウトビッド通知の電子メールが届く。さらに入札するか、ここであきらめるかはあなた次第だ。

価格の変動に気を付けよう

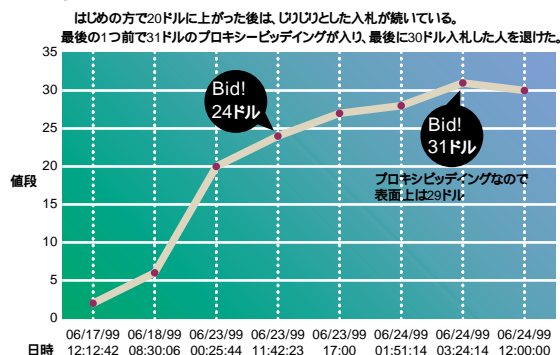
オークションでは価格がどんどん変わっていくのが普通。よくあるパターンとしては、出品されてしばらくはバラバラと入札があり、途中大きく値上がり、終了間際にドットとラッシュがある、というもの。ただeBayでは2、3の入札で終わる物も多いので、このパターンがすべてに当てはまるわけではない。

終了間際に状況を見ながらギリギリの線で入札するのもスリリングで楽しいが、米国との時差でオークション終了が日本の朝方だったり勤務時間中だったりすることはよくある。どうしても欲しい物なら終了時間が迫ったらパソコンにかじりつくことを

オススメするが（リロードは忘れずに！）同じ品物はきっとまたオークションに登場するので、あまり熱くなりすぎないように。

例 バーチャルボーイの場合

新しいゲーム機として注目を浴びながらいつのまにか消えていた、いわく付きのゲーム機。eBayでも本体が20～60ドルはするなかなかの人気商品。ここではスタートが1.99ドルで、途中20ドルにぼんと上がってからはじりじりと増えていった形だ。最後は31ドル。本当はリザーブプライスに届いてなかったが、売り手がオマケしてくれた。感謝!





国際間のやり取りだから慎重に アフターオークション & 売り手でデビュー

落札決定から商品到着まではこう進む

ある意味オークション最中よりも重要なのがオークション後の作業だ。というのも、オークションの間は

eBayの上で入札を行っているわけだが、落札後は完全に売り手と買い手の個人同士の取引になる。気を引き

締めてとりかかろう。後でeBayのサム大橋さんも言っているが、真の英語を身につけるチャンスでもあるので、辞書や翻訳ソフトを片手にでもいいから自力でがんばってみよう。

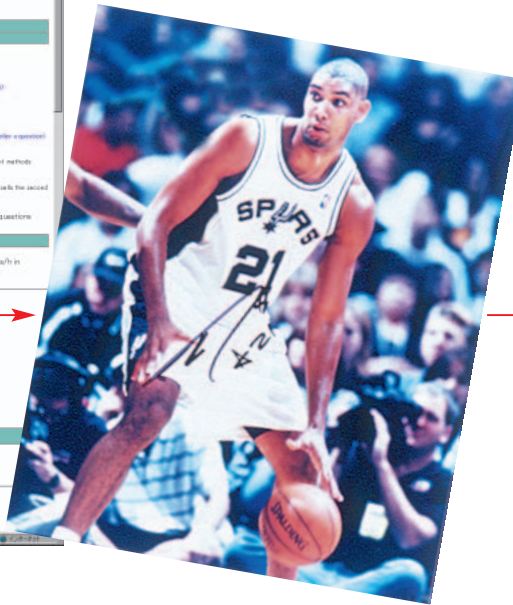
① 落札決定! まずは連絡から

落札が確定すると、eBayから落札確定の電子メールが来る。確定メールは売り手と買い手にCcされ、相手の電子メールアドレスも載っているので早速電子メールを出そう。eBayには落札日から3日以内(土日祝除く)に連絡を取る規則があるので、なるべく早めに出そう。必要な内容は発送方法および送料の確認と、郵送先として自分の住所氏名だ。



② 到着を待つ

支払いを済ませて先方にその旨を伝える電子メールを送ったら、あとは到着を待つばかり。米国からはエクスプレスマールだと2~3日、グローバルプライオリティメールとエアメールは5~7日、船便小包は1~2か月かかる。早さを取るか安さを取るかを考え、売り手にこの方法で送ってほしいと提案してもいいだろう。商品が届いたら、間違いや破損はないかを確認しよう。売り手が物を取り違えていた、開けたら壊れていたなどの場合は、すぐに売り手に連絡を取って対処方法を相談しよう(発送されている間に壊れたんだと言われることもあるが.....)。



③ フィードバックを忘れずに

商品が届いたら取引終了、ではない。フィードバックに相手の評価を書き込んで、本当の終わりになる。購入した商品のページ(終了したオークションのページは179ページの方法が、サーチページの「Search completed auctions」で探せる)にある「Leave Feedback」「Leave Feedback about an eBay User」ページに行って記入する。取引に問題がなければ「Positive」を付け、コメント欄に感想を記入して「Leave Feedback」ボタンを押せばOK。相手が原因のトラブルで取引ができなかった場合は「Negative」にチェックを付けるが、これをやると相手からもネガティブを付けられることがあるので要注意。トラブルがあったらメールでの確認を繰り返し、それでも解決しない場合のみにしておこう。



特集
目指せ!
超一流のインターネットバイヤー

支払いには国際郵便為替が基本



売り手と連絡が取れたら、次は送金。eBayのユーザーはほとんどが個人ユーザーなので、クレジットカードを使うことはあまりない。ほとんどの場合に郵便為替(Money order)が銀行小切手(Casher Check)の利用を求められる。ここでは郵便局で作れる国際郵便為替(通称IMO: International Postal Money Order)を使うことをオススメする。というのも、銀行小切手は日本で作る際に、郵便為替に比べて手数料がかなり高く付くためだ。

手続きは郵便局の窓口で身分証明書を持っていき、国際郵便為替の用紙をもらって記入するだけ。手数料が500円かかる。作る際に自分で送るか、そのまま局側で送るかを聞かれるが、自分で送る場合にはEMS(1,200円)を使うと、3日で着くのでベストな手段と言える。時間がかかって節約したい場合は、そのまま局側に送ってもらおう(+500円)。この場合は1~2週間ほどかかる。送金したら相手に「XX日くらいで届く」という電子メールを送っておこう。

カードが使えるときは?

クレジットカードに対応している売り手だった場合は、念のためフィードバックをもう一度見て、相手の信用度を確認しよう。もちろんカード番号は電子メールでは送らないように! 相手からの電子メールに電話やファクスの番号が書いてあるはずなので(なかったら請求しよう)、電話かファクスで送ること。

ファクスには自分の住所氏名とカード番号、有効期限、カードのサイン、落札した商品の番号と名前、商品の値段と送料の合計金額を書いて送ればOKだ。

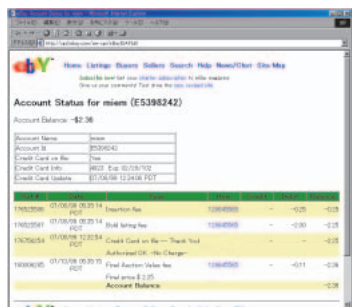
eBayで売ってみよう

買い手ばかりじゃつまらない。eBayを見るとどんな物だって売られているから、自分の不要な物で大丈夫。早速売り手としてもデビューしてみた。

1 まずは自分の出品する商品の相場を調べよう。該当するカテゴリーに行き、同じ物や似たような物がいくらほどで、どれくらいの人気で取引されているかを見る。目安がつけられたら、商品の説明を事前に書いておこう。目立たせたければHTMLで書くのもいい。商品の画像があるなら自分のホームページなどにアップしておく。



3 自分の入力した内容と、実際に表示されるページのプレビューが表示される。OKなら「Submit My Listing」をクリック。不備があったらWWWブラウザの「戻る」で前ページに戻って修正する。



5 オークション終了後、eBayは手数料として出品料 (Insertion fee)、落札手数料 (Final Auction Value fee)、オプション代の合計を請求する。ユーザー登録時に自動的に3か月有効の10ドル分のクレジットが付いているので、10ドルまでは払う必要がない。10ドルを超えるとクレジットカード登録の上で引き落とされる。手数料の状況については、My eBayのアカウント (account) で調べられる。

2 eBayトップページから「Sell your item」をクリックすると、出品用フォームが出る。

A ID、パスワードと商品名を入力。

B のカテゴリーに該当するかをプルダウンメニューから1つだけ選ぶ。

C 商品の説明と画像のURLを入力。「ギャラリー」にも掲載できる (+0.25ドル)

D 自分の所在地を入力して、プルダウンメニューからJapanを選択。間のzip codeは無視。

E 希望の支払方法と送料の負担、発送可能エリアについて選ぶ。支払いは「See Item Description」にチェックを付け、©の商品説明中に「International Postal Money Order or Cash」と書くのが確実。発送は「Will Ship Internationally」にチェック。

F アイテムの数、スタート価格 (Minimum Bid)、オークション期間を選ぶ。スタート価格はあまり高くすると入札されにくくなる。

G リザーブプライスを設定するならここから。下の「Private auction?」も無視。

H リスト内で自分のアイテムを目立たせるオプションを選ぶ (有料)。上から太字、フィーチャーオークション (eBayのトップページと各カテゴリーのリスト先頭に掲載)、カテゴリ内でのフィーチャーオークション、ギフトアイコン (ギフトセレクトのリストに掲載)。

I 入力が終わったら「Preview」をクリック。

4 完成! 追加・訂正したいところがあれば、入札前なら訂正可能だ。



eBayで使える例文集 2

・落札して売り手に連絡を取るとき
Hello ***** (セラー名),
I'm glad to winning your "***** (商品名とアイテムナンバー)".
Before paying, I'd like to know about shipping.
I'm living in Japan, so please let me know shipping cost to Japan.
Here is my mailing address;
(住所・氏名・電話番号)
Thanks!
***** (氏名とID)

・IMOを送ったことを相手に知らせる時
Today I sent you the money order that amounts of (金額を入れる).
It will be arrived to you after 2-3 days.
I'm looking forward to receiving your (アイテムの名前).



価格の不思議、習慣の違い.....

ここで解決! eBayの気になるあの部分

eBay・よくある疑問と注意

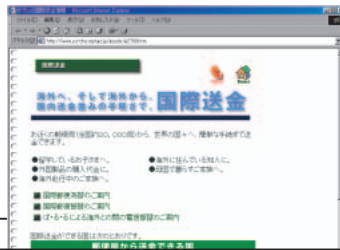
急がない、あわてない

こっちはすぐ欲しいと思っていても、相手が気にするとは限らない。日本でeBayを利用するのはコレクター気質のある人が多いが、海外、特に米国では不要な日用品を処分する感覚で参加している売り手が割に多い。感覚の違いに気が付かず、腹を立てたりしないように。また電子メールチェックは1日1回かそれ以下だったり、電子メールの返事が一言だけという売り手も。別に悪気はなく、彼らにとってそれが普通なこと。あまりナーバスにならないこと。

送金に気を付ける

なかなか面倒なのがこの支払い部分。何せ国が違えば金融・郵便システムも違うわけで、国際為替も受け付けてくれたりくれなかったり...。困ったときはここで調べてみよう。

ゆうちょ 国際郵便為替について
 www.yu-cho.mpt.go.jp/goods/g2710.htm



発送は常に悩ましい

送金同様、発送方法もトラブルが多いところだ。形状や重さによって大きく変わるし、日本とは違う発送システムもあるから頭が痛い。USPSの「International Postal Rate Calculator」(176ページ参照)などで事前に調べて、売り手に提案してみるのをお勧めする。オークションにかかるコストとしても大きいところなので、最初からこの分を計算に入れてオークションに臨むか、アシが出ててもよしとするか、時間がかかっても船便で行くかを、状況によって決めておこう。特に家具や機械物など大きい物や、重い物は要注意。

エスクローサービスとは?

eBayでときどき見るエスクロー(Escrow)という言葉。これは売り手と買い手の間の支払いを仲介して、支払いの安全性を高めるサービスだ。落札後、どちらかがエスクローサービス(eBayは「i-Escrow」を動めている)に登録すると、後の支払い・受け取りは常にエスクローを通じて、という形になる。しかしこのシステム、基本的な支払いが銀行小切手なので、日本からは手数料が多かくなり、さらに売り手からいやがられる場合も多い(面倒だかららしいのだが...)。1000ドルを超えるような高額なものを買う場合は利用したほうがよいが、10ドル20ドルの物には無用の長物といえそう。

www.iescrow.com/ebay/



特集
超一流のインターネットバイヤー

eBayベテランユーザーに聞け!

eBayのJapan Boardで活発に発言しているベテランユーザー2人に、eBayでの体験とアドバイスを聞いてみた。

まずeBayのガイドラインを翻訳してウェブサイトに掲載しているdansyakuさん。彼は売り手と買い手のどちらにもなるが、

「売り手のときは代金の受け取り方法に苦労します。IMOと言っても買い手の方が住んでいる国によって種類が違うし、銀行振込の場合は手違いが生じると為替手数料や手数料が目減りしてしまうことがあります。

買い手のときは売り手に航空便でお願いしても船便で届いたり、時には届かないことも。こういうトラブルは相手との多くの電子メールで解決するかもしれませんが、相手がそれを好まない人だとちょっと苦労します」

と、国際間ならではの苦労を語る。

eBayは参加しないとわからない部分が多く、初心者にはハードルが高い部分もあるが、現在はユーザーによるノウハウが個人ページにも公開されているので活用することを勧めている。また「熱くなりすぎて、市場価格をはるかに上回る価格を付けて後悔するようなことはしないでくださいね。一度やってしまったことは、取り消しできませんから」とも。

一方、eBayユーザー向けの掲示板を開催するJaplushさんも、顔の見えない相手とのコミュニケーションは大変という。

「しかも商習慣のちがう海外の人とのやりとりですから、結構疲れます。それに海外の人ってだいたい大雑把だし(笑)。僕は売り手専門ですが、何度言っても指定したのと違う為替を送ってきたり金額が違ったり、そんなのしょっちゅうです」

それでもeBayを利用するのは?

「いろんな人と知り合えるからかな。僕の場合、モノを売ってお金を儲けることより(それも大切

だけ)モノを売る過程が好きなんです。その中でたくさんの人と友達になれたし、今じゃ日本の友人よりも多いぐらい」

反面、英語が苦手、怖いと思いこんで、海外の相手のやり取りで下手に出て馬鹿にされるケースが多いことを心配している。

「海外のディーラーには日本人は英語ができないからと思ってやりたい放題の人間がいると聞いたこともあります。稚拙な表現でもいいから文句・苦情があるときはドンドン言いましょ。気持ち通じるはず。もちろん相手から親切にされたら、感謝の気持ちも忘れずに」

お二人のサイトには参考になることがたくさん詰まっている。ぜひ訪ねてみよう。

dansyakuさんの「eBayやろうぜ!」
 www.dansyaku.com

Japlushさんの「eBayユーザーのための掲示板」
 www.japlush.com/happybidding/

価格の謎にだまされるな!

最高価格は見えないもの

最高額で入札したつもりなのにアウトビッドになった。何度か入札するとこんな事態に出くわす。これがeBayならではの「プロキシービidding」(Proxy Bidding)だ。

プロキシービiddingは直訳すると代行入札。オークションが終わるまで入札額は出さずに、現在の最小入札額だけを表示するシステムだ。他の人の入札が自分の入札額を下回れば、他の人はアウトビッドされ、金額は入札額+増加分だけ増えて表示される。この「表示額=現在の最高額」ではないことがポイント。

例をあげると、ある物の最初の金額が10ドルとする。それにAさんが100ドル入札する。しかし価格表示は最初の10ドル+上げ幅分の1ド

ル=11ドルになる。次にBさんが20ドル入札しても100ドルに負けるので、Bさんはアウトビッドになり、表示価格は21ドルになる(Bさんの入札額+増加分)。Aさんは変わらず最高価格保持者(High Bidder)だ。他の入札額がAさんの100ドルを超えるまでAさんはずっとハイビッターで、金額は入札ごとに入札額+増加分(100ドルまでは1ドル以内)と表示される。

これは自分がAさん側ならいいが、Bさん側だと何度入札しても僅差で負けるので結構イヤなものだ。対策は相手を負かせると思う額をつぎ込むか、いさぎよくあきらめるかのどちらか。物欲とお財布の兼ね合いを考えてストレスのたまらない方法を選ぼう。

My eBayは使わにゃ損!

自分の現在の入札している物が一目でわかるのが「My eBay」。現在入札している物の最新価格、ハイビッターかアウトビッターか、締め切りまでの残り時間までがまとめてわかる。売り手には自分の出品状況やアカウント(eBayへの手数料)の合計額がわかり、また自分へのフィードバックも見る事ができる。好みのカテゴリへのリンクも作れる。売り手も買い手もeBayを使うならこのページは絶対に役立つぞ。Buyer、Sellerからリンクで飛べるようになっている。



リザーブプライスに要注意

リザーブプライス(Reserve Price)もクセ者。予約価格という意味どおり、売り手が「この価格以下だったら売らない」と設定した価格のことだ。これがいくらかの予測がなかなか難しい。というのも、リザーブプライスは買い手の予想より高めの設定になっている場合が多いからだ(このため商品名に「No Reserve!」というフレーズを売りにする物も多い)。もしリザーブプライスではない同じ品物があったら、そちらを選ぶことをオススメ。



売買から真の交流が生まれる eBayサム大橋さんに聞く

eBayを株価で見てもほしくはないんです。というのも、eBayをアマゾンコムやヤフー!と同様に捉えている方が多いんですが、それはまったく違うからなんです。

eBayは彼らのように在庫のために倉庫を増やす必要もないし、人員規模も150人程度とずっと小さい。通常のECはサイトの規模を大きくして広告料でまかなうんですが、eBayはオークションの場所だけを提供して、場所を貸した手数料で運営しています。そのために少人数で大規模の取引



を支えることが可能なんです。

eBay自身のポイントポイントはNASDAQに上場後の98年夏にあったと言えるでしょう。このときはマグワイヤのホームランボールやロ

ージー・オニール(TVスター)のチャリティーオークションなど、話題性の高い物が多かった。その後は3か月で取引額が倍になる成長を続け、1999年第4四半期で600億円が取引されています。

安く買って、高く売れる

オークションの形式を取ってはいませんが、基本的にはeBayはフリーマーケットです。

eBayは売り手に平等です。売り手がデパートでも、隣の老人でも同じに扱う。売り手としてeBayを使うことで、自立できるようになった人も多いいんです。たとえば身体に障害があって自宅から出にくい人が、手作りの物を持って生活の基盤にしていたりする。そういった個人の自立を促していることがeBayの最大の功績だと思っています。

実は日本の障害者の方のコミュニティにeBayを勧められたらと思って、今個人的に活動しています。ぜひ売る喜びを味わってほしい。

日本のユーザーは買ってばかり?

日本のユーザーは他国と比べても圧倒的に買い手が多いんです。もともと不要品を売る習慣がなかったのかもしれませんが、僕はぜひ売り手になることを勧めます。

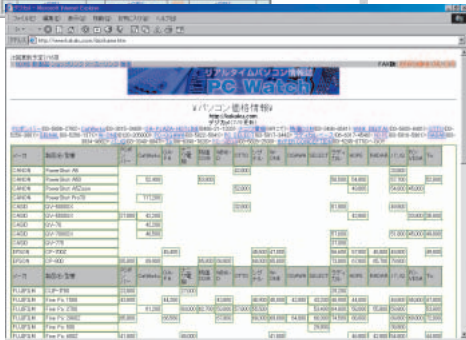
eBayで売ったり落札したりして相手と取引をすると、そこから個人同士のホットな英語のやりとりが始まります。英語の勉強には格好の教材ですよ。また日本の方からの相談を受けてトラブルのあった件の電子メールを見せてもらうと、たいいてい日本人は英語の文章を難しく書きすぎて、意味が通じなくなっている。もっとシンプルに、そして電子メールは感情が出るので、緩急を付けて書くのが手です。たとえeBayで失敗しながらでも自力でやるのは、真のコミュニケーションになっていきますから。

今年の第4四半期までには、イギリス、日本をはじめ7か国に各国内のオークション用サイトを追加する予定です。楽しみにしてください。



¥が使えるサイトを一挙紹介

日本のオークションサイトで買い物しよう



特集
目指せ!
超一流のインターネットバイヤー

パソコン価格表

www.kakaku.com

パソコン価格表は通販販売の価格を調べて掲載しているサイトだ。ということはその価格で商品が買えるのだ。オークションに参加するときにはそのことをよく考えてから入札しよう。

ヨドバシカメラ

www.yodobashi.co.jp

ツートップ

www.twotop.co.jp

ストリートプライスを掌握しよう

ゲーム性の高いオークションにハマってしまうと、前後の見境が付かなくなってしまう、ついつい高い値段を付けてしまうかもしれない。オークションに慣れていない人はそうになってしまいがちだ。もちろん、そのときその場でしか手に入らない貴重な物だったら、自分で価値を判断して好きなように値付けをすればいい。本来のオークションというのはそんなもんだ。

でも、日本のオークションの大半はやっぱり市販されているコンピュータ用品だったり、家電とかブランド品だったりするわけだ。それを安く買おうという算段だったら、まずはストリートプライス(実勢価格)を押さえておかないといけない。

コンピュータ製品だったら「アキバ価格」という激安のストリートプライスがある。つまり、秋葉原や日本橋(大阪)などでコンピュータや電化製品に付けられた値段だ。この価格で販売されている商品のいくつかは数が限定されていたり、実際に手に入るまで数日(場合によっては数週

間)かかったりするので完全にアテになる数字ではないが、ストリートプライスの最安値として頭に入れておけばいい。アキバ価格は「パソコン価格表」(左画面)といったウェブサイトでだいたい調べられるので、オークションに参加する前に見ておくのがいいだろう。ほかにもヨドバシカメラとかツートップといった通販サイトで価格を調べておくのも手だ。わざわざオークションで買わなくてもこういったサイトで購入するものも多い。

オークションの場合、競り落とせば必ず買えるし、商品も即納が普通だから、ストリートプライスよりも高いからといって損ばかりするわけではないが、とりあえず、よく値段を考えて買おう。当然、送料や送金のための手数料なんかもかかるので、その分の値段も考慮しておくべきだろう。また、買うときのタイミングも重要だ。メモリーなどのパーツ類は一日で価格が大幅に変動することもある。物を買うには絶えずアンテナを張って情報を集めておくことが必要だということを心に留めておこう。

うまい入札方法は2通りある

オークションでの入札の方法は2通りある、と思う。ここで言っている入札の仕方というのは、別に方式とか仕組みの話ではない。オークションで値段を付けるのは自分なから、自分がその商品に対する価値と同等かそれより安く値付けする必要があるのは理解してもらえと思う。でも、これがなかなか難しい。そこで、自分が納得できる値段で入札できる方法を教えよう。

まずは、オークションが終了するギリギリに入札する。それ以前は絶対に入札しない。そうすれば、どんどん上がる値段に加熱気味になることもなく、一発で落札できる可能性が高い。

もう1つの方法は、自分が出せる最高の価格ですぐに入札する。とりあえず納得がいく値段だし、もし落札できなくてもこれ以上のお金は出せないわけだから、気持ちも収まるはずだ。

eBayにはあてはまらない!

ここで紹介した2通りの方法はeBayでは不要だろう。というのも、eBayだったら自分が入札できる最大の金額を入力しておいて、あとは、その金額に達するまでは自動的に最小の価格で入札を進めてくれる。だから、入札のタイミングとか価格とかはその都度考えればいい。日本ではこの方法が使えるのはいまのところオンセールだけのようだ。ただ、eBayも終了間際に競ることもあるので、すべてがあてはまらないというわけではない。

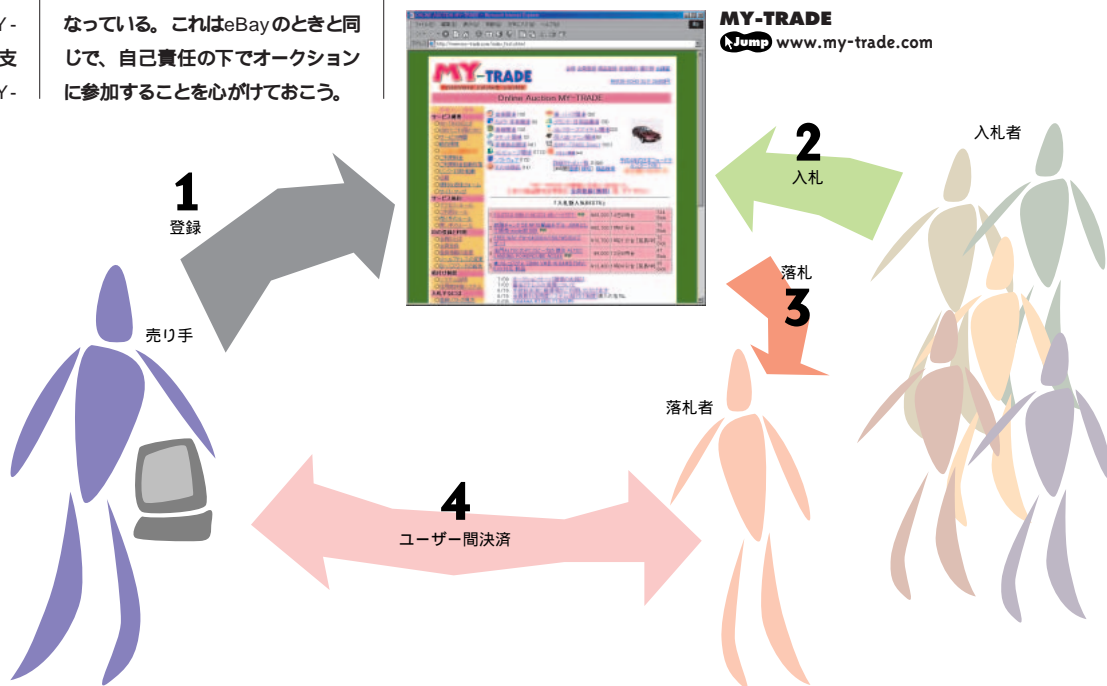
個人間でオークションするなら MY-TRADE

MY-TRADEは会員数1万3000人を誇り、現時点では日本最大のオークションサイトということになる。仕組みそのものは非常に簡単で、eBayと同じようにMY-TRADEが提供するオークションの場でユーザー同士が物を売ったり落札したりするだけだ。売り手は商品を登録する際に、買い手は商品を落札した際に、MY-TRADEに100Point(100円)を支払う必要がある。この収入でMY-

TRADEは成り立っているわけだ。

落札した商品の決済方法は買い手と売り手の相談で決めるが、大抵は銀行振り込みが多い。これだと手数料も少ないし、ほぼ即日で決済できてしまうからだ。

基本的には落札後の動きに関してはMY-TRADEは関与しないようになっている。これはeBayのとくと同じで、自己責任の下でオークションに参加することを心がけておこう。



会員になっておこう

MY-TRADEの場合、会員にならなければ入札さえできない。というわけで、まずは、会員登録をしておく。

注意しておきたいのは、電子メールアドレスに匿名メールアドレスが使えないこと。匿名メールアドレスというのは、Hotmailのように本人の身元を確認なしに作れるウェブメールサービスやBigfootのような転送サービスの電子メールアドレスを意味している。つまり、身元が明らかでない場合は会員登録はできない。お金が絡むことなので、それだけ信用が必要になるのだ。

それから、銀行(郵便局)の口座番号も必要となる。これは売り手と買い手の間にMY-TRADEが入って決済の仲介をしてくれる取引仲介のときに使うものなので正しく入力しよう。

電子メールアドレス

匿名メールサービスのアカウントは使えない。そのほかにも細かい規定があるようなので、一度詳細を確認しておく。

希望するニックネーム

MY-TRADEのサイト内で利用されるアカウント名。この部分だけ公開される

銀行口座

取引仲介で使われる口座。売り手(出品者)が使うことになる。MY-TRADEは落札者からお金を受け取り、そのお金を出品者に対して支払う。そのときに使う。

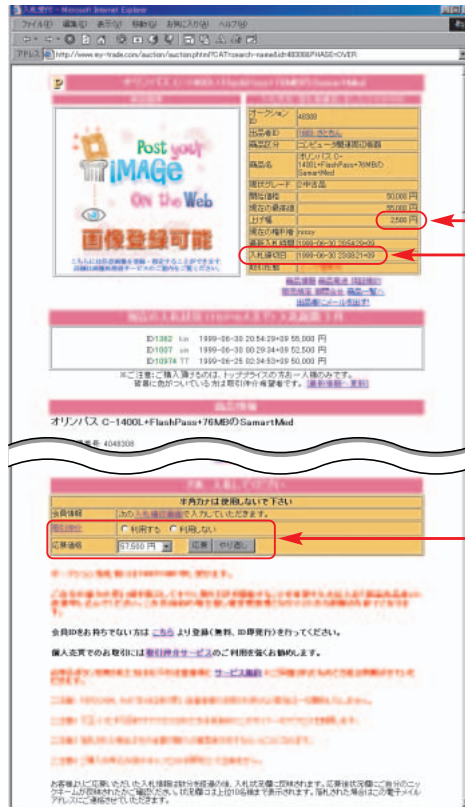
以上が入力で注意すべき点だろう。項目すべてを入力して手順に従うと電子メールでアカウント名とパスワードが送られてくるので、これを使えばいい。くれぐれもパスワードとアカウント名は忘れないように。

▶ 次のページへ▶▶▶▶

商品を入札しよう

購入したい商品が見つかったら、実際に入札ということになる。が、その前にいろいろと考えることがある。ストリートプライスがほしいどれくらいなのかや入札の締め切り日はいつなのかといったことだ。

これ以外にも、商品が中古の場合などはコンディションがどうかといったことが気になる。写真がない場合は製品がどんなものかわからない。「商品情報」を読んでも情報が物足りないようだったら、出品者に問い合わせをして必ず納得してから入札しよう。一度落札してしまったら、原則的には取り消しが利かないから必ず買う気で入札すること。



① 「現在の最高値」とストリートプライスを比較

今回はオリンパスC-1400Lというデジタルカメラ。「パソコン価格」で調べたところ、新品なら実勢価格の最安値で5万数千円。これだけなら新品を買ったほうがいいが、スマートメディアが78Mバイト分とほかレンズやフィルターも付いているので中古品と言えども、かなり格安ということで購入を決めた。

② 「入札締め切り」をチェック!

入札締め切り時間がいつなのかをチェックしておく。なるべくなら入札締め切りぎりぎりまで待って入札したほうがいい。そうしたほうが、比較的安い価格で落札できるかもしれないからだ。MY-TRADEの場合、入札締め切り5分以内に入札があると、入札締め切り時間がさらに30分延長される。とりあえず、オークションは「締め切り時間が勝負」ということになる。

③ 条件がそろったら入札!

①、②をクリアしたらあとは入札するだけ。取引仲介を利用する場合は「利用する」にチェックを入れる。取引仲介を使うと、時間が多少掛かり、手数料も取られるのでよほどのことがない限り使う必要はない。入札すると電子メールで入札の確認が送られてくる。

特集
超一流のインターネットバイヤー

落札したらどうする

落札したらMY-TRADEより落札したことを知らせる電子メールが送られてくる。同様の内容の電子メールが出品者に送られているので、まずは、出品者から支払い交渉の電子メールが送られてくるのを待とう。出品者と連絡が取れたら、お金の支払い方法などについて話し合う。たいいていは、料金を銀行口座などに振り込むように指定される。一般に送料は落札者が負担するケースが多いようだ(送料着払いにして商品が送られてくることも多い)。

これで売買は完了

だ。荷物を受け取って商品を確認したら、最後に信用度評価システムに相手の評価を登録しておこう。

これは、売買が成立したあとに相手かどのように対応してくれたかを評価するシステムだ。相手の信用度がこれで

決まるので、慎重に評価すること。

もし、出品者から72時間以内に何も連絡がない場合は、MY-TRADEに苦情を言うておこう。MY-TRADEでは落札後72時間以内に連絡を取らなければならないルールになっているので自分が出品者のときは注意。



オリンパスC-1400Lほか
5万7,500円

オリンパスのデジタルカメラC-1400Lにスマートメディア78Mバイト。ほかにも接写レンズやフィルターなどが付いてこの価格は中古と言えども破格だと思う。

ユーザー同士のコミュニケーションが生まれる

「月間の取引件数が多い1万2000ぐらいあります、平均単価も1万円を超えています」とMY-TRADEの井奥さん(写真右)。これだけ会員が増えると「オークションのやり取りがきっかけでお友達になった」といったことがよくありますよ。会員同士でお互いに便利にしようとか、知らないことを教えてもらおうとか、そういったものがインターネットの特徴ですね(MY-TRADE 尾崎社長、写真左)とのこと。オークションの楽しみは買い物だけではないことがわかる。



あの楽天市場でもオークションできる

「楽天スーパーオークション」は楽天市場のオークションサイト。オークションに商品を出しているのはすべて楽天市場の出店者なので、さまざまな商品がそろっている。中には掘り出し物もあるので丹念に調べてみるのもいいだろう。

目玉は1円から入札できるオークションだろう。結果的に1円では落札できないが、少しずつ値を上げていく感覚などはオークションの面白さを味わえる。

入札の方法にはクロードとオープンが用意されている。出品者がそのどちらかを選んでオークションが始まるわけだが、クロード型は入札価格が表示されない。したがって、落札されるまでその商品がいくらで落札されたのかわからないというゲーム性の低いものとなるが、適正な価格で落札できるかもしれないというメリットもある。楽天市場ではこのクロード型が半分近く占めている。



楽天スーパーオークション
[Jump www.rakuten.co.jp/auction/](http://www.rakuten.co.jp/auction/)

ほかのオークションサイトのようにコンピュータ製品ばかりというわけではない。「レアもの」などは面白い商品があるので見てみる価値アリだ。

取り扱い商品

- 花・レアもの・その他
- ファッション
- 生活・オフィス・雑貨
- フード・ドリンク
- パソコン・モバイル
- 健康・美容・福祉
- 総合通販・ディスカウント・家電
- 趣味・スポーツ・クルマ

買い手が値段を決められるのが魅力

楽天市場の下山さん(写真)はクローズ型のオークションについて「確かに値段が出ていないとつまらないという方もいらっしゃいます。しかし、オープンにしてしまうと現在の値段がわかってしまってどんどん値が釣り上がってしまうという方もいらっしゃいます」と語る。「オークションは自分で価格が決められるのが魅力。この値段であれば買えるという値段をぶつけることで買える買えないが決まるので、クローズの手法を望まれる方が多いのも事実です」と、この値付けの魅力についても語ってくれた。



オンセールならコンピュータ製品を新品で

オンセール
[Jump www.onsale.co.jp](http://www.onsale.co.jp)



いまのところはコンピュータ製品やコンピュータ周辺機器が中心だ。今後の商品展開に期待したい。

取り扱い商品

- コンピュータ本体
- パーツ類
- 周辺機器
- PDA
- オーディオ機器
- ビジュアル機器

オンセールはコンピュータ商品を中心としたショッピングサイトだ。期間限定的商品販売の「クイックバイ」と買い手が値段を付ける「オークション」があり、7月15日にはコンピュータのパーツショップ「DOS/Vストア」がオープンしている。また、本誌が発売されるころにはゲームソフト専門の「PCゲームストア」がオープンしているはずだ。

基本的にオンセールのオークションはコンピュータ製品のアウトレットセールといった感じで、残念ながらまだまだ値段は高いところで落ち着いてしまう。もう少し、冷静に値段を見つづける買い手がオークションに参加すればきっと面白いサイトになるのは間違いない。

商品のジャンルは少ないが、6月にサービスがまた始まったばかりで、今後は商品の幅を広げていく予定とのこと。これから注目のサイトだ。

会員のメリットになるようなサービスを提供する

「Steals & Deals という電子メールサービスに登録した方に新しい商品のご案内を送らせていただきます(オンセール菅原さん、写真)サイトに行かず新製品情報が見られるのはうれしい。さらに「いまははっきりと言えませんが、クーポン券のような会員の方にメリットがあるサービスを考えています」と得する情報も。「今後はAVソフトやチケット、アウトドア商品を展開していく予定です。今年の冬の商戦は日本のオンラインショッピングも盛り上がりそうです」と意欲満々だ。





エージェントが提供する新しい買い物の仕方 商品と商品をつなぐリコメンド機能を使う

Reel.comならレアなビデオも手に入る

Reel.comはビデオ販売で人気のあるサイトだ。ここは日本からでも注文ができるし、用意されているビデオの本数もかなりあり、ビデオをよく購入する映画好きにはうってつけのサイトだろう（もちろん日本語字幕入りのものはないが……）

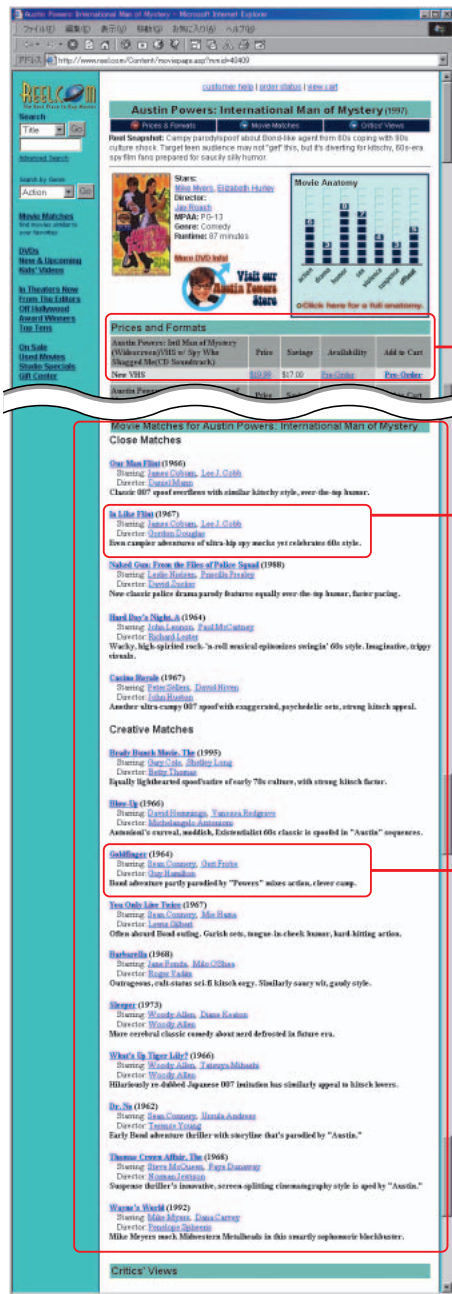
この手のサイトの特徴として面白いものに「リコメンド」機能というのがある。直訳すれば「推奨」ということになるが、「1本お買い上げいただくんでしたら、こちらもお買い上げませんか？」といくつかのビデオを紹介してくれるものだ。マクドナルドでハンバーガーを注文したときに「ポテトはいかがでしょう」というのとニュアンス的には変わらないが、機能としてはそんな単純ではない。

関連商品を提示してくれる

この秋日本でも公開予定の「オースティン・パワーズ2」の前編の「オースティン・パワーズ」を探してみると、お得なビデオとCDとのカップリングセットが見つかった。

このときページの下のほうに、「Movie Matches……」と書かれ、ずらざらと映画が紹介されている。これが、リコメンド機能だ。オースティン・パワーズと関連するビデオがいくつも紹介されている。こういったビデオの情報はさまざまなデータから最適なものを見つけ出して表示しているのだ。たとえば、時代背景が似ていたり、設定が似ていたりといった観点から選び出されているものがある。Reel.comでは「Close Matches」（こちらどうぞ）と「Creative Mutch」（ご参考まで）を提供してくれるので、映画の幅や知識が広がって買い物楽しくなる。便利になるだけでなく、知識を与えてくれるようなエージェントを使ったショッピングは、今後は普通のものになっていくはずだ。

特集
超一流のインターネットバイヤー



\$19.9
オースティン・パワーズ・ビデオセット

ビデオとCDとのカップリングパッケージ。
これでこの値段はめちゃくちゃ安い。



In Like Flint
(電撃フロント・アタック作戦)

Even campier adventures of ultra-hip spy mocks yet celebrates 60s style. (お懐かしの超ヒップなスパイが大活躍！クールな60'sからおぼかな60'sまでみどころ満載) ジェームズ・コバーン主演の60年代スパイムービー。確かオースティン・パワーズも映画の中で見ていた。日本で手に入るのはレーザーディスクだけ。

Goldfinger
(007 ゴールドフィンガー)

Bond adventure partly parodied by "Powers" mixes action, clever camp. (アクションあり、小意気な演出あり、キザったらしくも懐かしいジェームズ・ボンドのアドベンチャー。オースティン・パワーズの元ネタあり) 誰もが知っているゴールドフィンガーもリコメンド。



\$16.99 In Like Flint + \$12.99 Goldfinger
\$29.98

オースティン・パワーズのビデオと合わせて49.97ドルということになる。このほかに税金と送料などがかる。今回は時間の制約もあり、DHLのプライオリティ便を使ったので送料は65ドルとなり、すべて合わせて114.97ドルとなった。

Amazon.comのリコメンドは充実

当然ながら、インターネットショッピングの覇者もこの機能を導入している。というより、こちらのほうが本家なのかもしれない。Amazon.comの場合、「この商品を買っていくお客さまは、ほかにもこういうものを一緒に買います」といったリストや同社が行っているオークションから

関連するものを探し出して提示してくれる。もちろん人の好みと自分の好みは違うので自分には必要のない商品も出てくるが、買い物の参考にはなるだろう。ほかの人が書いたレビューなんかも気になるところだ。リコメンド機能は本だけではないのでいろいろと試してほしい。



Amazon.com
Jump www.amazon.com

CDNowにもあるリコメンド機能

CDNowにも同様の機能がある。ある商品を探し出すと、「Album Adviser」という機能を使って類似したアルバムなどを提示してくれる。

このほかにもCDNowでは面白い機能を提供している。My CDNowでは過去に購入したCDなどから自分の好みのCDなどを提示してくれる自

分専用のカスタマイズページだ。インターネットではこういった「自分専用ページ」を提供するのが流行になっているが、エージェント機能を使ったユーザーにとって知識が広がるようなものがあればリピーターになっていく。定期的におすすめのCDを電子メールでも紹介してくれる。



CDNow
Jump www.cdnow.com

値段を調べてくれるエージェント機能もある!

人間の行動やそのほかのさまざまな情報から、自分の好みに合ったものを選んでもくれる、そんなエージェント機能をここでは紹介してみた。しかし、エージェントと呼ばれるものはほかの種類もあるようだ。

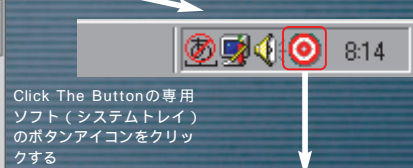
ある商品が欲しい場合に、その商品の値段をさまざまなサイトで比較して一番安いところを見つけられるようなものもエージェントと呼ばれる。インターネット上をぐるぐる回って特定のサイトを見つけてくれる、多くの人が頭に描くこのようなエージェントソフトの出現はもう少し待たなければならぬようだが、それに近いサービスが出現している。

驚きのサービスを紹介しよう。「Click The Button」というサイトがある。オンラインショップサイトで欲しい商品を見つけたときに、専用ソフトのボタンをクリックするとブラウザの画面が変わって、その商品を扱っている複数のサイトでの値段を比較してくれる。これを使えば、あちこちのサイトに行き値段を調べる必要もなくなる。

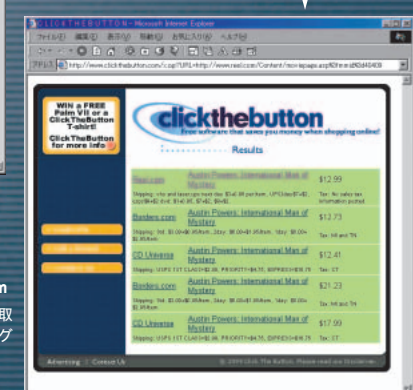


Click The Button
Jump www.clickthebutton.com
オースティン・パワーズのビデオを取り扱っているオンラインショッピングサイトと価格を表示してくれる

たとえばオースティン・パワーズのビデオを見つけるとする



Click The Buttonの専用ソフト(システムトレイ)のボタンアイコンをクリックする





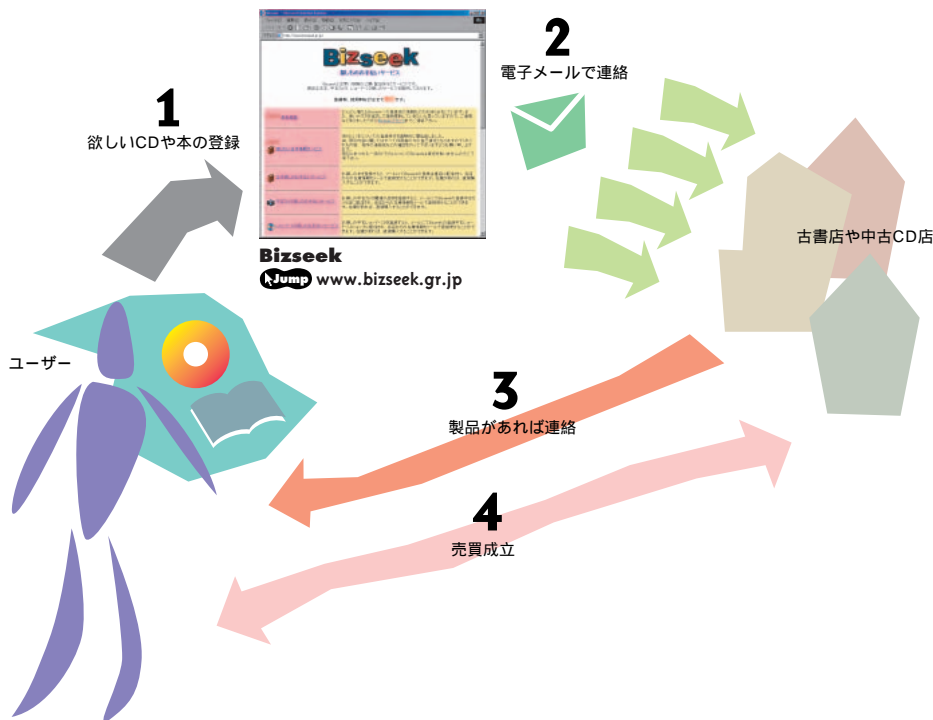
インターネットならではのマーケット作りがいま熱い 買い手と売り手をつなぐショッピングサイト

探している本やCDがあるなら Bizseek

買い物と言うと、店に並べられている品物を買うのが普通だ。オンラインショッピングもこれと何ら変わらない(検索機能を備えているものもあるが、在庫の中から探すという意味では同じだ)。しかし、欲しい物はわかっているが、そういった物をたくさんのお店の中から探し出すことが非常に難しい場合には、こういった買い物の仕方では不十分だろう。

Bizseekはこれを解決してくれるサイトの1つだ。「特定の物(本やCD)が欲しい」買い手が、Bizseekに欲しいものを登録すると、その情報がサイトに登録されている古書店や中古CD店に電子メールで送られる。もし、電子メールを送られた店が商品を持っていれば、その店は直接買い手と交渉する仕組みになっている。つまり、Bizseekは買い手と既存の売り手を電子的につなぐ役目を果たしているのだ。

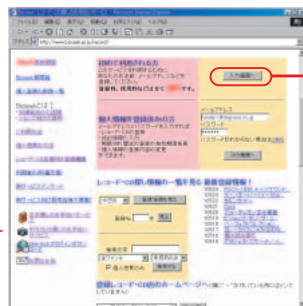
特集
超一流のインターネットバイヤー



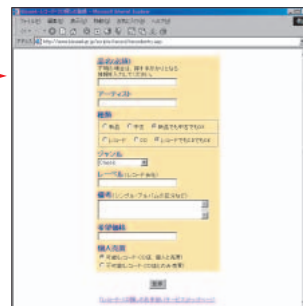
ページの作りは割とシンプル。もう少し操作性や見せ方に工夫があってもいい。しかし、サービスには大きな魅力がある。



登録する箇所はあまりない。ユーザー登録で登録した個人情報は、電子メールぐらいしか相手に公開されないのが安心だ。



登録されているものを検索することができる。個人売買でもかまわない場合は、登録した人と直接取引してもいい。



登録するための入力項目はCDとレコードの場合はこれだけ。できる限りの情報を入力しておけばいい。

本・CD・カメラに特化する
Bizseekが受け付けているものは、本とCD、カメラに限られている。以前より古書店や中古CD店、中古カメラ店などは顧客が求めていた商品が入ると顧客に連絡するといったサービスを行っていたところも多いが、Bizseekは規模を大きくしてインターネット上でこれを実現したわけだ。購入したい人はユーザー登録を済

ませて、あとは欲しいものをリストアップするだけ。もし、商品名がハッキリとわからなくても、断片的な情報があればOK。相手はプロだから、商品があれば見つけてくれる。
店だけでなく個人売買もできるように、ウェブサイトに購入希望のリストも公開されている。
Bizseekが提供しているサービスは、いわば雑誌などによくある「売

ります/買います」の「買います」だ。本に関しては、実験的にも「売ります」のサービスを始めている。
この原稿執筆時点(7月15日)では、登録されているリストが送付される古書店は175店、中古CD店は71店、中古カメラ店は41店ある。これだけ揃っていただければ、ほしい物はかなりの確立で見つかるはずだ。

Amazon.comでもリクエストを受け付ける

実を言うとBizseekのようなサービスはAmazon.comでも行っている。Amazon.comで本を検索した際に、その本が絶版（out of print）になっていることがある。こんなとき右側に「Try out of print order」という文字が出てくるので、この部分をクリックするとShopping Cartに本が追加される。これは、Amazon.comに絶版本を探すように注文したのと同じことになるのだ。実際にはAmazon.comがサプライヤーにネットワークを通じて問い合わせる。

このとき本の値段は提示されないが、気にしないでいい。なぜなら、本が見つかった時点で初めて値段が提示され、そのとき購入するかどうかを決めるからだ。したがって、値段が高額だと予想できる本でも気軽に注文できる。

このようにオンラインショッピングは単なるカタログ通信販売ではなくて、買い手がいかに便利になるかが追求されているのだ。

ほかにもBizseekのように「売ります/買います」的なサービスを提供しているサイトがある。楽器を専門に扱っている「DiGiMART」だ。Bizseekと違って「買います」だけでなく、「売ります」についても充実している。

Amazon.comで絶版本を表示させるとこのような画面が出てくる。右側の「Try out of print order」をクリックするとショッピングカートに追加される。



DiGiMART

Jump www.digimart.net

楽器専門だけあって種類、量とも充実した内容になっている。個人売買が中心になっている。



みんなで買うと値段が下がるショッピングサイト

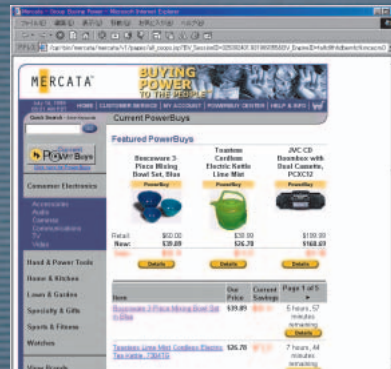
オークションサイトなどは買い手が商品の価格を決めるといのが特徴となっている。このような場合、一般的に価格は安くなるが、参加するユーザーが増えてくるとそうはならないことも多い。

一方で、卸などに一定のまとまった量を買付けすることでボリュームディスカウントを利かせて安く商品を販売する方法がある。このビジネスモデルをオンラインショッピングに当てはめたのが「アカンパニー」と「マーケータ」だ。一定時間の間に商品の購入者を募り、購入者を増やしてボリュームディスカウントを利かせて値段を下げる仕組みになっている。現在、日本から注文はできないが、今後はこのようなサイトにも注目しておきたい。

アカンパニー

Jump www.accompany.com

すべての商品がボリュームディスカウントの対象となっている。本当の意味での安さが出てくるのは、もっとこのサイトでの購入者が増えてきてからだろう。



マーケータ

Jump www.mercata.com

PowerBuysがボリュームディスカウントに相当する。自分が払うつもりでの最高の値段を設定しておき、購入者が増えて価格が自分の設定したものよりも安くなって初めて購入できるのでリスクが小さい。



気になる人もそうでない人も必読

インターネットでの買い物は本当に安全なの？

買うときにはここに注意しておこう

つきはなした言い方だが、どんなときでも「自己責任」が付きまわってことを覚えておこう。これは、インターネットに限ったことではない。現実の世界も同じだ。これさえ頭に入れておけば、インターネットでの買い物は「安全」だと言える。

まず、もっとも注意すべきことは相手がどんな店なのかだ。現実世界でも、いかにも怪しいお店には入らないのと同じように、インターネットの世界でも怪しそうなサイトで注文なり買い物なりをしてはいけないことは誰でも予想が付くはずだ。

誰もが知っている名前の知れ渡ったサイトだったらまず問題ないが

(Amazon.comとかCDNowとか) 知らないようなサイトだったらウェブサイトにも店の所在地や電話番号が書かれているかを確認しよう。とりあえず相手の身元確認ができなければあとで大変なことにもなりかねない。

購入したものを返品できるかどうか書かれているか確認しておくこと。通信販売法では返品は必ずできることになっているが、サイトに書かれているかどうかで店の姿勢がうかがえる。また、問い合わせに対する対応も相手のやる気がわかるというものだ。細かいことだが、ウェブサイトの情報が常に更新されているかも注目しておきたい。これも同様の理由だ。

目安になるのはカード決済ができるかどうかだ。というのもカード決済ができるようになるためには、カード会社の厳しい審査をクリアしなければならないからだ(しかしこれは日本の場合だけ)。

相手が個人の場合は上記のような注意点は当てはまらない。オークションなどの場合は、「相手を信じるしかない」というのが正直な意見だ。eBayやMY-TRADEなどに用意されている信用評価システムはそのために使うことはすでに書いた。電子メールを頻繁にやり取りして相手の様子を見るとか、高額の場合はエスクローサービスを使うといった対処方法しかないというのが実情だろう。最小は少額でいろいろ試すのがいい。

特集
目指せ!
超一流のインターネットバイヤー

買う前にはここをチェック!

- ① 相手の会社情報が把握できるか
- ② 決済について詳しく書かれているか
- ③ 問い合わせに対応してくれるか
- ④ サイトの情報は新しいか

買ったあとはここをチェック!

- ① ウェブページ、電子メールはすべて保存しておく(もしくはプリントアウトする)
- ② 送られきた商品の動作や傷など調べる

ガイドラインによって店舗の信頼性が高まる

通信販売協会に聞く

通信販売の業界団体として社団法人日本通信販売協会(JADMA)がある。ユーザーがオンラインショッピングを楽しめるように業界にどんな動きかけをしているのかをJADMAの柿尾さんにうかがった。

「訪問販売等に関する法律の通信販売に関する項目が改正されましたが、これを受けて今年1月にインターネット通販のガイドラインを作りました。このガイドラインの内容には、事業者の代表者もしくは管理責任者の名前と電子メール以外の連絡手段(電話やFAX番号)を明示することが盛り込まれています。また、コンテンツの表示期間を目安として6か月に決めました」とのことだ。このガイドラインを守っていれば、ある程度信頼できる店ということになりそうだ。

「ほかにもこの8月からオンラインマークの実証実験を始めます(右参照)。これは1つの目安です。先ほどの表示項目が守られているか実証実験に参加いただいているサイトにロボットを送りこんで調べる予定もあります」という動きもあるようだ。



8月からマーク制度導入!

通産省は日本通信販売協会(JADMA)に「オンラインマーク制度」を委託して、この8月から実験を始める。実験では、参加するショッピングサイトのウェブページ上に、ほかのサーバーにあるオンラインマークを表示できるようにする。登録していないサイトからは画像の置かれたサーバーにアクセスできないようになっているため不正使用は防げる。このほかロボットを使った参加サイトの表示項目のチェックも行う予定。本格運用となれば、このマークはユーザーがショッピングサイトを選ぶ際の大きな指標になると思われる。



トラブルに巻き込まれたらこう対処しよう

あまりないとは思いますがトラブルに巻き込まれた場合の対象方法のいくつかを解説しておこう。ただ、ここで解説していることがすべてではないので、臨機応変に対応することが必要だ。相手が海外で英語の対応しか受け付けていない場合でも、臆せずシンプルな英語でやり取りすることだ。誰かが助けてくれるという甘い考えは捨てて、自己責任で行動することを心がけよう。

① 荷物が配送されてこない?

配送されてくるはずの荷物が配送されてこない。多分この手のトラブルが一番多いはずだ。こういったトラブルがあった場合、まず相手に確認すること。電子メールでもいいし、電話でもいい。ただ、海外で注文した場合、配送が非常に遅れるということもある(配送会社のトラブルもあるし、税関で止まることだってある)。信頼できるショッピングサイトであれば、配送したことを電子メールなどで知らせてくれるので、配送日や配送方法などを確認して問い合わせしよう。

明らかに相手に不備がある場合は、強い態度で臨んだほうがいいだろう。状況を正しく伝え、相手に何らかのアクションをおこしてもらうこと。

相手と連絡が取れない場合は、④で紹介するようなところに相談する。クレジットカードで決済した場合、カード会社に請求を止めてもらうこともできるので相談してみよう。

② 請求額が違っていた!

請求額が間違っているというトラブルがあるかもしれない。勘違いかもしれないので、一度確かめることが必要だ。普通は商品の値段のほかに税金や送料などが加算されるので注意して見てみよう。海外から購入する場合、税金の額が思いのほか多いこともある。送料も馬鹿にならないので、購入前に確認しておくほうがいい。

明らかに間違っている場合は相手に問題があったことを伝えること。クレジットカードの決済であれば請求をカード会社に止めてもらえる。商品を買う前に請求されているならば、購入を諦めるのも手だ。信用がおけない店からあえて買う必要はない。

③ 注文した商品と違う!

注文した商品と違うものが送られてきた、送られてきた商品が破損していたなどの場合は、すみやかに相手に問題を伝えること。普通は商品を取り替えてくれるはずだ(もちろん

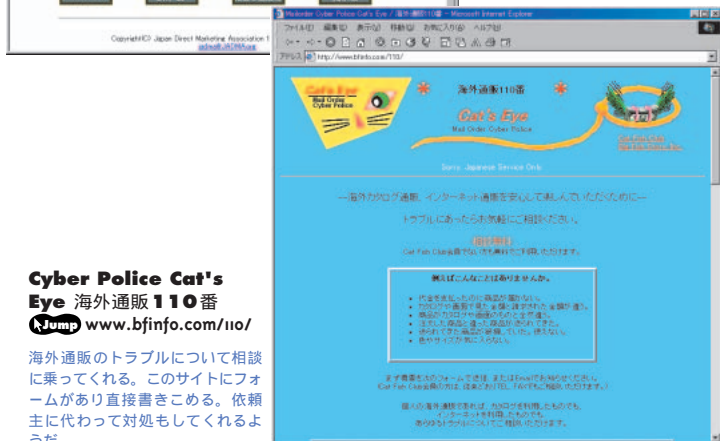
送料などは相手持ちだ)。ただ、商品が品切れだったりする場合もあるので、そういった場合は料金を返してもらうこと。

④ 対処できないときは……
非常に複雑なトラブルに巻き込ま

れてしまうことだってある。個人で対応できないと思ったら、外部の助けを借りることも必要だ。幸いにもインターネット上にこういったトラブルに相談に乗ってくれるところがある。一度連絡してみるといいだろう。



日本通信販売協会 (JADMA)
 Jump www.jadma.org
 日本通信販売協会では通販110番を設けて、通信販売に関する苦情を受け付けている。電子メールでの問い合わせも可能。



Cyber Police Cat's Eye 海外通販110番
 Jump www.bfinfo.com/110/

海外通販のトラブルについて相談に乗ってくれる。このサイトにフォームがあり直接書きこめる。依頼主に代わって対処してくれるようだ。

カードの利用も自己責任が大事 住友クレジットサービス

現時点でオンラインショッピングをするのにもっとも便利な決済手段はクレジットカードだろう。しかし、悪用されることを懸念する声も大きい。そこで、クレジットカードを使う際の注意点などを住友クレジットサービス開発推進部楠木さんにうかがった。

クレジットカードを不正に利用されているのが気が付いたときは、「利用した覚えがない請求があった場合には、連絡をいただければ請求をストップさせていただきます」とのこと。したがって、不正に利用されたものに関

しては、請求されないでひとまず安心だ。気になるのはクレジットカード決済ができるサイトの選び方があるかどうか。「当社の場合、インターネットでクレジットカード決済をされる店舗様との加盟契約では、必ずセキュリティーのシステム構成図を出してもらうことになっています。ファイアーウォールや内部の運用についても調べさせていただいています」とのことなのである程度は目安になりそうだ。また、推奨店をウェブサイトなどで紹介していくとのこと。さらに、今後はV-PASSという店に直接カード番号を渡す必要がなくなるシステムを考えているそうだ。

ユーザーに対しては、「海外のサイトで英語をちゃんと読まないでクレジットカード番号を入力してしまっただけで請求されるパターンが多いです。自己責任がとて大事です。買っておいであとは面倒は見えてよというのは少し問題とえば問題ですね」という厳しい意見もあった。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp